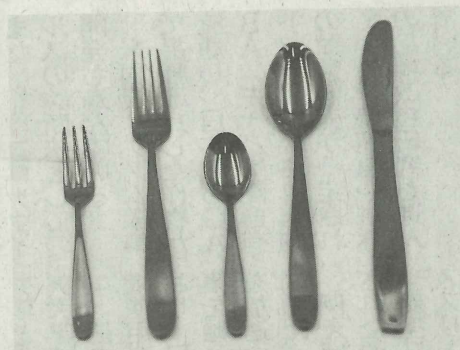


# 食品医療市場を開拓

## DLC膜で米FDA認証取得

【相模原】不二WPC(相模原市南区、下平英二社長、042・707・0776)は、同社のダイヤモンドドライカーボン(DLC)コーティング(膜)について、米食品医薬品局(FDA)の認証を取得した。FDAの厳しい安全基準を満たすことで、食品医療関連でのDLCの国際的な活用が期待できる。主力である車や産業機械向け表面処理に加え、食品医療向けも開拓し、事業の柱に育成する。

【相模原】不二WPC(相模原市南区、下平英二社長、042・707・0776)は、同社のダイヤモンドドライカーボン(DLC)コーティング(膜)について、米食品医薬品局(FDA)の認証を取得した。FDAの厳しい安全基準を満たすことで、食品医療関連でのDLCの国際的な活用が期待できる。主力である車や産業機械向け表面処理に加え、食品医療向けも開拓し、事業の柱に育成する。



DLC膜はダイヤモンド炭素膜。食品医療関連の器具や製造・搬送装置の表面にDLC膜を施すことで、摩擦低減や耐摩耗性向上が見込める。潤滑油を使う箇所に被膜すれば油

DLC膜を施したナイフなど食器類

が不要になり、異物混入対策にも貢献する。また、医療関連ではDLCの生体適合性の高さが有効と見ている。不二WPCは2018年春から、食品関連のコンサルティング会社とFDAへの申請手続きに着手。財団法人化学物質評価研究機構(CERIL)で発がん性物質が出ないなどの安全性を確認し、20年9月25日にFDAの認証を取得した。食品器具や機械の表面処理でFDA認証を持つ技術は珍しいという。

下平社長は「FDAの厳しい基準をクリアすれば、安全性や特性の信用度が高まる。多くの利点と合わせしつかり提案し、普及を急ぎたい」と意気込む。食品関連へはグループ会社のサーフテクノロジ(相模原市南区)を通じて提案する。不二WPCはDLC膜と別に、付着防止や抗菌効果を持つ独自技術「マイクロロディンブル処理」を持つ。これをDLC膜と組み合わせ、複数の特性を与えてさらに高付加価値化を目指す。

## 新潟県、米ECC参入支援

### 県内製造業向け 手続き・リスク対応策

【新潟】新潟県は県内製造業による米アマゾン・ドット・コムへの出品を支援する。民

東日本

負担するほか、本価格販売時の販促費用も1社25万円まで助成する。中小企業が単独で海外輸出すると物流費がかさむ上、米国では消費者が企業を訴える訴訟が多く、保険料も高い。複数の企業の商品をまとめて扱うことで物流コストや保険料を削減できる。

## 産業創出へ交流の場

### 福島イノベ・コースト構想推進機構 参加企業募集

福島イノベーション(福島市)が、福島イノベ・コースト構想推進機構(福島市)などは、11月に開催する「ふくしまみらいビジネス交流会2020 in Jタウン・コースト構想」の「イレッジ」の参加企業募集を始めた。同19日にJウイレッジ(福

### ちよつと訪問

シンクランドは光学、電気技術を用いた医療機器や検査測定機器などの製造販売を手がけるベンチャー。光学系機器や振動センサーだけでなく、近年は美容や医療での使用を念頭に、マイクロニードル事業にも取り組んでいる。宮地邦男社長は「糖尿病患者が透析で痛い思いをすることを知り、なんとかこ

## シンクランド

## 施策要望 21項目決議

「悟だ」と表明 あいさつした